

藤沢駅周辺地区再整備構想検討委員会

第6回 藤沢駅南北まちづくり市民検討部会《概要版》

日時：2011年5月24日（火）午前10時00分～

場所：藤沢市役所 新館4階会議室

1. 開 会
2. 部会長挨拶
3. 議 事
  - (1) 基本構想について
  - (2) 地域・商業振興にむけた今後の方向性について
4. そ の 他
5. 閉 会

【議事概要】

- 部会長 議事が(1)基本構想についてと(2)地域・商業に向けた今後の方向性についての2つに分かれており、まず資料のうち基本構想に対応している1～5までを説明して欲しい。
- 事務局 <資料1～5について説明>
- 部会長 入口の議論にもう1回戻ったという印象を受け、このまとめ方にはやや違和感がある。事務局は、「基本構想」という形をとにかくつくりたいということか、それとも昨年度のまとめをこのようにしたということか。
- 事務局 基本構想のまとめをしたいという意識から整理した。
- 部会長 私の意見としては、入り口のスタンス、視野を確認した後、最終的な出口を見極めた上で、今回資料で出された基本構想辺りの内容に振り返る方が良いと思う。議論を始める最初の段階であれば良いが、一年間検討をした上でこの資料が出されると違和感を感じる。ここに書いてあることが、前回まで検討してきている流れにうまく繋がるのかよくわからない。
- A委員 市としては年度を超え、これまでの具体的な議論をそもそもの枠組に戻して整理しておきたいということではないかと私は理解している。もう少し先の議論をしないと、最終的な基本計画に繋がる、メリハリのある構想にはならないと思う。
- 部会長 ミスリードになりかねない。非常に概念的な大事な事ではあるが、今回は場所や具体措置

としてやらなければいけないことがはっきりしているので、出口を見極めた上で、それに合理性を与えるために、冒頭をしっかりと整理するという方法が良いのではないかと。

- ・基本構想を決定ということであれば積み残しや反映できないことが出てくる可能性もあり、仮置きとしたらどうか。

B 委員 私も違和感を感じる。基本構想という形でまとめるのであれば、駅改良部会での情報が無  
い中でまとめるのはきついのではないかと。

事務局 昨日開催した駅改良部会は、構想の素案に近いものまでは至っておらず、市、鉄道事業者  
自体が考える課題を出し合った段階である。

- ・駅改良部会である鉄道事業者としては、それぞれの駅に対し改良を重ね対応をしてきて  
いるが、一方、駅全体等で見るとその限りではないという中で、藤沢市として望む駅舎像、  
市のオーダーを鉄道事業者に示せということを言われた。また、バス事業者からも駅前の  
混雑状況等を把握し、バスバスの不足分、タクシールールの必要規模等を出せというこ  
とを言われている。
- ・この議論を受け、市民検討部会における藤沢駅への要望や議論を伺いながら、藤沢市とし  
てのオーダーをまとめていきたい。

C 委員 資料3頁の【地区の整備方針】にこれまでの議論で出来た具体的な内容を示すと解りやす  
いのではないかと。

- ・例えば、1つめの藤沢の都心部機能集積の維持・充実では、市民が好きな店等を自慢・発  
信したり、2つめの湘南・藤沢らしさを持ったサービス・交流では、藤沢らしさを持った  
お店のコンクール等をしたり、4つめのにぎわい・交流の核の形成では、市民のオペラや  
いろんな市民活動など既存の活動のPR、7つめの次の時代を先導する環境や安心・安全  
への取組では藤沢の特徴として挙げられている空、海、風とエコライフを合わせて考える  
と、以前市民からあった風力発電を皆で出資してつくるという提案復活等が考えられる。
- ・また、震災にあった仙台駅の現状及び今後の取組を検証し、都市機能を維持するためには、  
ハード面、ソフト面での取り組みを議論したらどうか。4頁のまとめでは最終的にハード  
整備で終わるイメージになるが、7つの整備方針を落としどころにすれば議論しやすい。

部会長 前回、前々回あたりでそのところを議論しかかっており、出てきた大きなプロジェクト  
を柱として、具体化しようかという辺りを合意した上で、この基本構想にきちんと書き込  
んでいくという流れが良いと思う。基本構想の役割というのは、入口として何かアイデア  
を引っ張り出すためのものであり、非常に大事なことが書いてはあるがそれは去年散々や

ったのではないか。

- ・基本構想を「確定物」として掲げるのではなく、例えば7つの地区の整備方針の中でも、強弱があったりする状態を許容するものだという認識で、今後の検討の視野として大事なことを示すということであれば良い。特に、公共施設配置の考え方というのは示す必要があるが、唐突に出てきているので何の必然性もなく、「こういう検討を経たから公共施設はこうして欲しい」というものを出さないと意味が無い。

事務局 あくまで本日の事務局の案であり、部会員のご意見を伺いたいという意図でお示しました。  
部会長 では、6を先に聞いてから皆さんで整理しましょう。

事務局 <資料6・資料編について説明>

D委員 中心市街地活性化には駅舎改造が核であり、それに沿って南北の駅前広場へどう誘導するかが重要である。JRと小田急が仲良く市民のための構想づくりを期待できないことから、市から「市民のためにこういう駅であって欲しい」と強烈に発信して欲しい。主張を出すは金を出すことになると聞かすが、市民、商業者が支持してJRと小田急が一生懸命つくるというスタイルにならないと、期待はずれになる怖れがある。

- ・JRのトップの方は、最近、まちづくりに貢献するような駅舎ということを行っているようである。駅舎の構造を決めるための手順や、誰と誰が発言するなども含めて記述しないと、鉄道3社がうまく話し合いで決めるとは思えない。

E委員 商業者という立場で駅の仕様を見ると、今流行りの「駅ナカ」は気になるが、駅というのは使い勝手の良いものであれば良く、街に人がいかに流れてくるかということが、駅舎づくり、商店街や周辺のまちづくりに非常に重要ではないか。

D委員 駅ナカについては、別に議論が必要である。周辺の商業と連携できる駅ナカを注文をしたり、また駅ナカ整備がJRや小田急において駅舎改良に弾みがつく可能性もある。一方で、駅ナカを阻止すると駅舎改良が進まなくなる可能性もあり、限定しないで、我々が求めるタイプの駅ナカについて議論することが必要である。

E委員 商業者の立場で発言しているが、街に魅力があれば人は誘導されると思っており、駅ナカを全否定しているのではなく、それなりの機能を持った施設としては大事だと考えている。

D委員 駅ナカは利用者の立場からは便利であり、乗換だけで帰らないようなきっかけづくりとしては必要であろう。ただ、地域の商業を壊すような構造では困るため、その辺りについて議論する必要がある。乗降客にとっては乗り継ぎがしやすいこと、藤沢市としては安心・安全という構造上の問題、私達にとっては駅を降りた人がどう街に流れるかなどに関心が

あり、もっとフリーで議論できるようリードして欲しい。

事務局 この部会や地元の組織などで駅と駅周辺との連携や流出について充分議論した上で、市民部会と駅改良部会で議論できる場を設けていきたい。

・駅改良部会でも、まずは周りのまちづくりと駅の関係、それと利用者の乗換の利便性、安全性という基礎の部分とを合わせた議論をしていくこととなった。

部会長 全体の駅周辺整備計画の議論は今年度で考えているか。

事務局 今年度いっぱいを目標にしている。

部会長 駅周辺の概念的な検討をしても、鉄道事業者側は駅舎の具体的な計画に着手できないだろう。歩行ルートやバスとの乗換というような、駅周辺での人の動きを具体的に出せる状況にするまでの目標が今年度いっぱいとなると、早く中味の議論をする必要があるだろう。人の流れなどについて、当部会で議論したい。

C委員 5頁の「取組み案・イメージA～D」は今後の方向として挙げているのか、それとも1つの事例としての扱いなのか解らない。事例・イメージを挙げているが、これが適切なのか。事例について再度検討した方が良いのではないか。

事務局 説明が足りなく申し訳ない。5頁の部分はめざす姿ではなく、それぞれの手法にある効果とともにリスクを整理したく、あくまでも例示である。右側の事例が善し悪しはご指摘のとおりだが、これまでの検討の方向性に何かしら当てはめられる部分があり、その際に想定される課題を踏まえつつ検討するための頭出しという形で資料を出している。

部会長 6頁、7頁は、ここでの議論のためだけの資料であれば、これからの考え方をどう整理するかの紹介ということで良いと思う。

A委員 資料の5頁は、少し目的が事例を紹介することに留まっており、何を読み取って藤沢の状況に反映するかということが必要である。例えば、ラゾーナ川崎は公共空間というものを中に取り込んだ商業施設であることが集客につながる大きな要素であり、規模は別にしても、そういう商業施設のあり方として、1つの商業開発の中に交流が生まれるようなスペースを上手につくり込むことが重要であることを読み取るとともに、滞留空間、パブリックスペースを街中にどのように作りだすか等、藤沢の現状への持ち込み方を意識した評価が必要。長野駅のコンコース以外の事例はそれぞれ示唆するものがあり、藤沢の街の中に欠けている要素を明らかにするべきである。具体的に藤沢の街に適用させる可能性、できる可能性をもう少し具体的にやっていくことが大事である。同時に、街としてやっていくための1つのプラットフォーム、あるいはそれを牽引していく街の組織という意味でエリ

アマネジメントは非常に意味があるので、これらと対応させたらどうか。6ページのエリアマネジメントもここまで固定した話ではなくこの場所に合った、結果として藤沢方式と言われるようなエリアマネジメントであれば良い。その時には1頁のようなこれまでに議論されてきたものを具体化していくプロセス、体制としてのマネジメントを常にセットにして進めると、藤沢方式のエリアマネジメント像が見えるのではないかと。

部会長 大上段に商店街でやっ払いこうというよりは、具体的プロジェクトを実効性のあるものにする時にミクロナエリアマネジメントが発生するという感覚ではないかと。

A委員 いきなりエリアマネジメントの枠を完全につくるのではなく、プロジェクトをまとめていった時に、エリアマネジメントの全体像ができて良いのではないかと。

部会長 そういうアプローチの方が実践的だと思ふ。

・商業の話は、前回までに3頁の1番最後にある8つの戦略という視野で藤沢の商店街を具体的に何ができるかを考えようという風にアプローチしてきたと思ふが、今日の資料とこれまでの話がどういふ関連になるのか、どういふつもりで5頁ができたのか。

事務局 最終的には、個々具体的取組みがこの8つの戦略になっていくイメージだが、それを、5頁に(1)地域・商業振興にむけた選択の部分で書いてあるような見方をすれば、今の段階で、こういう整理もできるという、違ふ切り口で整理してみた。

C委員 唐突にこれが出ていて脈略がない気がする。もう1つのプロセスとして、整備方針が7つあり、それぞれ8つの戦略とだぶっていることからマトリックスをつくってみた結果、この4つに当てはまるものには、こういう位置づけがあると示すと繋がるのではないかと。

E委員 商店街の立場で言うと、他所の企業が入ってくるのではなく、地元の人が集まりラゾーナのような施設をつくれなかつと思ふ。例えば、40年も続いているビルの中にこのような機能を持った施設をつくったら良いのではないかと。

D委員 街のタウンマネジメントの一環として、街の中あるセンスの良い店をもっと売り出してやろうという際に、私自身が街を歩いて声をかけるとなると、呼んできた以上はうまくいかないと責任になるなどしてなかなか難しい。海岸線なんかを走っていると、いかにも湘南らしいお店でも、年間通じての売り上げはあまりないのではないかと。夏場は良くて、冬場のギャップを埋められる仕組みができると、湘南らしいお店がこの地域に根付いてくると思ふ。この地域だけでなく、センスの良い人や、まだ実績はないけど可能性のあるお店を迎え入れ、育てていけるような、街の中の仕組みづくりをタウンマネジメントの会社がやれると良いのではないかと。ナショナルブランドばかり入れても湘南らしさはできないと思

うので、それを自分達で探してきて育てるところまでを仕組みの中につくらないと、いつまでたっても変わらないのではないか。

E 委員 横の商店街ではなく、ビルの中に地元の人たちが入っているような縦の商店街もあって良い。今あるのは、辻堂のように外の業者が入ってくるような形で、何十年もやってきた人たちがだんだん阻害されていくことで街が変わるのは悲しいことだ。

D 委員 開店以来45年以上経っても生き残っている地元のお店もあれば、お店のセンスがお客さんから離れやめていった店も多い。この街はこういう風にやるということを消費者にも働きかけてもらって、皆でこの店を支えようという雰囲気できれば、藤沢ブランドができてくるのではないか。そのような仕組みは今までなかったと思う。

F 委員 第1回から考えると具体性があるが、今日の話の中では「方向性」という表現でよくわからない。結局、この中で一番問題になっているねらいが、3頁に載っている「地区の整備方針」に全部要約されているのではないかと思うが、ここに書かれている内容にはただこういうことを図るとか進めるということが書かれているだけであって、何がという部分が見当たらないので、そういうものを1つ1つ挙げていった方が良いのではないか。まず藤沢の都心部機能集積の維持というところから1つ1つやってはどうか。また、5頁はあくまでも例であって参考にはなるが、3頁の部分が一番中心ではないか。

G 委員 昨年の議事録を読むと具体的な方向性の方に進んでいたが、今回、基本構想に戻って少しまとめるという意向からこういう資料になっているのだとは思いますが、3頁の整備方針と8つの戦略でまとめていくのが一番良いのではないか。先程のご意見があったようにこれに5頁と連携していくと、話がより具体的に進んでいくのではないか。

・昨年度まとめた産業振興計画の商業の方向性として、回遊性や人のにぎわいをつくるには人が動く必要があることや、これらを拠点駅を中心に進めていくという、方向性を示しており、今後議論が進むと、藤沢駅周辺が良くなっていくのではないか。

A 委員 こういう形にまとめてみると、最初の段階の資料に比べ、かなり言葉遣いなんかは藤沢らしいとか、特徴が表現されるようになってきており、先の議論をしたことが、結果としてこういうところに反映されてきていると思う。また先程、部会長からやれることはあっても、やれないことがあるとまずいというお話があったが、一方で、ここに書いてあるがまだ議論をしていない部分もある。そういう意味では、特に地区の整備方針あたりを含めてもう1度、これを戦略のところでも議論してきた検討に、逆にこれを反映していくこともできるのではないか。例えば、環境では、ソーラーパネルだけではなく例えば環境を意識し

たライフスタイルとか、またこれを展開するために駅周辺で何が考えられるかなど、今回の整理によりもう1度、次の議論に反映できるのではないか。

B委員 これまでの議論は仮説に基づいて進めてきたと思っており、暫定的なものとして、ある程度進んできた段階での「構想編」としてまとめても良いのではないか。ただ、4頁の一番上の都市構造構築の方向性の中で、最初の「既存の都市構造を基本とし」以降で、「部分的な改良・整備とともに、誘導」としか書いていないのは誤解を招くのではないか。これからまちづくりを考える中で、一般的に「部分的な改良・整備」とすると、夢がしぼんでしまうような感じがする。

部会長 基本構想「案」をつけたままとし、次の作業のための指針としながら具体化の段階へ進んでいき、最終的な基本計画ができた時に、再度変わるかもしれないという性質のものであれば良いのではないか。

・4頁までは全体の概要として、一応、暫定ではありますが「案」としてこういうものとして出すことになるので、3頁に8つの戦略と矢印で繋いである部分は、すごく強引に今までやってきたことに格好をつけるようなものになっているので削除したい。C委員の意見にあったように、この地区の7つの整備方針についてそれぞれに具体例として示しておくぐらいでこの頁を収めてはどうか。4頁で一番気になるのは、公共施設配置の考え方についてで、これは言わなければいけないことだが、もう少し議論をして根拠をつけていきたいと感じている。これは、今の段階で言わないと間に合わないか。

事務局 夏くらいには藤沢市としての方向性が決まっていく、方向性の漠然としたものが見えてくると聞いているので、この段階で公共施設配置の考え方を固める必要はない。

部会長 相手側にある程度出す内容を夏までに固めるのであれば、今議論が必要ということか。

B委員 3月11日を境にして、本庁舎機能が移転し、建替えにおいても新たな選択肢が出ている中で、これまでの説明と変わらないのはおかしい。また、それを議会に報告するとすると、先程言われたスケジュールではきついのではないか。

部会長 公共施設配置の考え方については、「参考」くらいで残しておくか。まず、1点めの公共施設は藤沢駅からあまり離してはいけないということについてはどうか。

E委員 北口の事業者にはのぞましい方向性で、駅周辺にあって欲しいという意見が多い。

部会長 2点めはあまり問題ないと思うが、3点めについてはどうか。上のBにある「活動・交流などの拠点を地区の外縁部周辺に配置」という部分になり、現状くらいが良いのではないか、辻堂の方にいくのはまずいと言っているのか。

- 事務局 最低、藤沢で、辻堂はないということを言っている。
- 部会長 今後、もう少し必然性のあるものとして検討したいが、一応仮まとめということで確認したということにする。具体的な出口を急いでつくと、大事な視点を置いてけぼりにしてしまうという恐れは確かにあり、この視野を忘れないように出口を考えるという意味では意味があると思う。今後、具体的な出口をできるだけ打ち出して、それを揉んでいくことを早目にやった上で、少しずつ肉付けをしていくと、だんだんイメージが出てくると思う。
- A委員 もう少し、駅との繋がりを意識して、ここでもいろいろ言った方が良さそうに思う。今までブランクにしてきたが、もう少し踏み込んで、期待を込めて、こちらから繋がりを含めて考えていく方が良いのではないかな。絵を描いてしまっても良いと思う。
- 部会長 コストのこともあり、鉄道をあまり振り回すのは難しいと思うが、駅部会でこの程度のこととは考えられるということはないのか。
- 事務局 事務局からの提案に対し、議論を行うという形になる。事業者であり最終的にはコストの話にいくが、まずは目一杯の絵を描いて見せるということだと思う。
- A委員 それはそれでやった方が良い。鉄道のみではなく、バスなどの情報を出すと良い。
- 事務局 平成23年度からはそういうフェーズが生じるので、こちらでも交通の方に踏み込んだ議論をさせていただきたい。

< 日程調整等 >

- 部会長 以上で、本日の議事を終わります。

以上